

大府市読書活動推進計画 2026（案）に対する意見の概要と市の考え方

| 番号 | 意見の概要  | 市の考え方  |
|----|--|--|
| 1  | おおぶ文化交流の杜図書館の団体貸出の期間延長をお願いしたい。(現在は1ヶ月間、名古屋市は3ヶ月・6カ月間の市町村もある)   | 多くの利用者の方に本を読んでもらいたいと考えていますので、ボランティア団体への貸出期間の延長については、活動内容を確認した上で検討を進めます。  |
| 2  | 東海道本線の東側にも図書館をつくってほしい。また無理なら公民館図書蔵書を増やしてほしい。                   | おおぶ文化交流の杜図書館蔵書は、本の予約システムにおいて予約することで、市内公民館等で貸出・返却が可能です。また、公民館の図書については、施設のスペースの関係もあり、回転率の低い図書から新しい図書への入れ替えや、新たな図書のリクエストなどにより対応しています。   |
| 3  | おおぶ文化交流の杜図書館の読書スペースを増やしてほしい。また、市民がくつろいで読書をしたくなるような空間の整備をしてほしい。 | おおぶ文化交流の杜図書館は、多くの方に利用されています。今後もご利用いただく方のご意見を参考に、より良い図書館を目指します。   |
| 4  | 大府市で、0歳児健診などの機会に、ブックスタート（赤ちゃんへの絵本贈呈）事業の実施をしてほしい。               | 本市では、生後0～3か月のお子さんのいるすべてのご家庭に赤ちゃん訪問を行っており、企業から提供を受けた絵本をお渡ししています。また、現在はコロナ禍で実施を見合わせていますが、令和元年度までは、4か月児健診や2歳児歯科健診、2歳6か月児歯科健診の待ち時間に、有志のボランティアによる絵本の読み聞かせを実施していました。今後は、状況により再開を考えております。この他にも、4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診では、おおぶ文化交流の杜図書館の利用案内チラシをお渡ししています。 |

|   |   |   |
|---|---|---|
| 5 | 児童生徒の読書活動を充実させていくためには、学校図書館に常駐の司書を配置して学校図書館の運営主体とすることが重要だと考える。専門家が学校図書館を運営することで小中学生の間に読書に親しむ習慣が今以上に身につく、不読率も低下するのではないか。 | 現在、小中学校には、教員定数内で司書教諭の資格を持った教員を1人以上配置するとともに、学校図書館の蔵書の事務的作業を行うための市採用の図書整理員を配置して運営しています。学校教育法の教育目標の一つでもある読書についても重要な項目であるので、専門の学校司書の配置については、学校経営全体を見据えて検討を進めます。 |
|---|---|---|